

# きたすま

へりくだる者は高められる  
(ルカ 11・4)

No.230(9月号)

2022年8月28日発行

発行 カトリック北須磨教会

〒654-0151

神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡

編集 広報委員会

## 祈りの習慣をつけましょう

高橋 聡 神父

祈りは私たちの靈魂の救いのための重要な手段です。ですから、わたしたちの大切な務めとして、この祈りの習慣を生活の中でつくっていかなくてはなりません。

以前、カトリックの祈禱書に定番の朝晩の祈りが記載されていて、多くの信者はそれによって祈りの習慣を身に着けていました。

けれども、現在は朝晩の祈りがどの祈りの本に載っているとしても、なぜか、祈りの習慣が昔ほどには身につかなくなっているようです。

司祭と修道者は教会が正式に決めた典礼の朝晩の祈りを忠実に唱え続けていますが、その本がやや高価で、また、それを使うのが少し複雑なので、信者の皆さんにまではなかなか行き渡っていません。

このように、今まで以上に苦勞が増えています。それでもぜひ、私たちや人々の救いのため、祈りの習慣を身に着けていきましょう。

もう一つカトリック信者の実践で大切にされてきたことは「犠牲をささげる」ということですが、ほとんど顧みられていないかのように見えます。克己のイメージのある犠牲ですが難しいなと思ってしまうから

でしょうか。

私たちのできる犠牲は、まず祈りと善い行いを合わせることではないでしょうか。ほとんどの皆さんは、現実には教会の奉仕や掃除、また、ボランティア、炊き出し、病人訪問、あるいは、家庭での家族・配偶者の世話というような必要不可欠な善い行いに携わっておられます。これはこれだけで十分善い行いではありますが、さらに、それに祈りを合わせることによって、これらが神への捧げもの・犠牲になるということをお覚えておきたいものです。このような業を行いながらも、同時に、あるいは前後に、心の中でもたびたび神に賛美と感謝をささげたり、自分や他の人のために恵みを願ったり、神に助けを求めたりすることがわたしたちにはできます。これは単なるよい行いよりも何かさらに優れた神への捧げものではないでしょうか。そして、それによって私たちは、人を裁いたり、批判したり、不平をこぼすことが少なくなって、神さまの愛を学んでいくことになるのではないかと思います。そして、この同じことは、克己や忍耐についても言えることだと思います。

その後、司祭は拝領者に近づき、ホスティアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。  
キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

拝領者はホスティアを受けると、すぐにすべてを拝領して席に戻る。(\*1)

座る

### 御血の拝領

御血をカリスから拝領する場合、司祭は「キリストの御血」と言い

拝領者は「アーメン」と答えてカリスを受け取り、拝領する。

両形態による拝領の場合、司祭はホスティアを御血に浸し、拝領者に示して

「キリストの御からだと御血」と言い、拝領者は「アーメン」と答えて口で拝領する。(\*2)

聖体の授与が終わると、司祭はパテナをふき、カリスをすすぐ。その間に、司祭は静かに唱える。  
主よ、口でいただいたものを清い心をもって受け入れることができますように。

このたまものによって、永遠のいのちに導かれますように。

拝領後、一同はしばらく沈黙のうちに祈る。

適当であれば、詩編か他の賛美の歌、もしくは賛歌を歌うことができる。

### 拝領祈願

立つ

司祭は祭壇または自分の席で会衆に向かって立ち、手を合わせて言う。

祈りましょう。

一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。続いて、司祭は手を広げて拝領祈願を唱え、

会衆はその結びにはっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## 閉祭

必要があれば、会衆への短いお知らせが行われる。(\*3)

続いて派遣の祝福が行われる。司祭は会衆に向かって手を広げて言う。

主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭は会衆を祝福して唱える。

全能の神、父と子と聖霊の祝福が □(\*4) 皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

一定の日や状況によっては、上記の祝福のことばの前に、典礼注記に従って他のより荘厳な祝福、あるいは「会衆のための祈願」が行われる。

## 新しいミサの式次第解説(8)

北須磨教会典礼委員会

左の式次第は今年の待降節第一主日(2022.11.27)から使用される新しい式文です。

- 司式者と会衆の応答以外は斜体にして分かりやすくしました。
  - 今回の変更箇所と、注意すべき箇所をゴシック体で示しています。
- \*1；御聖体を戴けるのは洗礼を受けたカトリックの信者のみです。利き手を下に両手を重ね、手のひらでご聖体を受け、脇に進み利き手でつまんで拝領してください。他の方は祝福を戴けますので司祭の前で手を合わせ頭を下げてください。
- \*2；両形態拝領で、司祭から配られた御聖体をカリスの御血に浸していただく時は御血をこぼさないよう注意のこと。
- \*3；共同体のミサでは交わりを深めるため共同体に関わる(共同体のための)お知らせが望ましいが、長くなり過ぎないように。
- \*4；開祭の時と同様、会衆は自分に十字架のしるしをする。

いよいよ次回が最終回です。お楽しみに。(文責KH)

(私たち)日本人は4人共コロナにかかってしまい、全員揃わないので、発表が最後になってしまいました。出発前に出来上がった“FBB 祈りの手引き”を使って、日本中に多くある神父不在の教会のために、一緒に祈ってもらいました。メンバー4人の内3人が神父不在の教会の信者だったので、私達信徒も知らずの内に多くの罪を犯しているの、赦しの祈り(7p)をし、教会の歴史の中で様々の呪われた部分を神の祝福に置き換えて下さるように、“祝福の連禱”(9p)を祈りました。



長崎出身の人の体験は、世界の人が身を乗り出して、被爆の体験に聞き入っていました。私たち唯一の被爆体験国が、核廃絶のリーダーシップをとるように共に祈りました。鹿児島教区では、「近隣教会のために熱心に祈った結果、今では各教会から1人ずつとりなし人が立ち上がり、ザビエル教会で毎週執り成しの祈りをしている」という成果を発表されました。

又ある人のお母様が昨年亡くなりました。その方は熱心な執り成しの祈りをする方でした。コロナの時期で大阪から鹿児島までお葬式に行けませんでした。それで「お母さんが本当に天国に行ったのなら一目会いたいわ」と電話で話したその夜に、お母さんが戸を開け両手を広げ「ハレルヤ救われた」と歌いながらハグしてくれた、ということです。このことから、“祈りの手引き”39ページで、私達も死後、天国で神様の側で子供たちや後からくる人のために執り成しをして霊的に生きることができるのだとわかり、少し安心しました。将来のあるべき姿、行く道が垣間見られたからです。

3回ワクチン接種したにもかかわらず、パンデミックでコロナにかかってしまいました。幸い風邪のような症状ですみましたが、バチカン直営の“羊飼いの家”というホテルで7日間滞在しました、その間多くのエンジェルに助けられて、良い体験ができました。又コロナによって、世の中、特に飛行機に乗ることが、携帯なしではできないことが分かりました。紙による証明書がなくなり、携帯又はパソコンによるオンラインとなりました。ローマ空港でのPCR検査はカードのみの支払いで現金では受け付けてもらえませんでした。

郡山司教様語録 人に言えば、愚痴になる、神に言えば、祈りになる。  
傷は絆となる。 人のほめる言葉は 畏(ワナ)。

郡山司教様は前鹿児島司教で、2007年“FBB 燃える柴共同体”を正式な執り成しのグループとして認可して下さったかたです。人伝の言葉ですが・・・

「一人一人が神から光を受けて、光となって教会に聖霊の火をともし。教会がコロナに負けず、本来の役割“人々を正しい道に導く”という使命を果たすことができますように」という1ヶ月にわたるローマの旅でした。



## 委員会の紹介 第3回 社会活動委員会

残暑の候お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。当委員会は社会、特に弱い、辛い境遇におられる方々と繋がり共感・共助・共生できることを旨とし微力ながら活動をしています。神様の慈しみのうちに。

社会活動委員会の活動は、現在は主に炊き出しと神戸地区社会活動委員会への参加です。

- 炊き出し（月1回 第2火曜日）
- コーヒー喫茶、バザーのお手伝い、施設でのお手伝いは、コロナ禍の為お休み中です。早く実施できる日がきますように！
- 神戸地区社会活動委員会の活動への参加
  - ・ クリスマスコンサート、学習会、静修会、講習会
  - ・ 静修会・講習会は、今年は実行されるそうです。具体的に決まりましたらお知らせ致します

■炊き出しについて少し詳しく書きます。

- ① おにぎりは、当教会で当日9:30から作ります。種を取り練り状にした梅干し（種をとってタンタン叩いて練り状にします）入りで100個くらい（以前の半分くらいになりました）握ります。それを善意で出してくださる車で現地（小野浜）に運びます。
- ② 具だくさん味噌汁は、現地で食材をカットして大鍋で作ります。
- ③ 食材は、前日購入して教会の冷蔵庫で保存。お米（9kg～10kg）も前日に洗い、釜にセットしておきます。

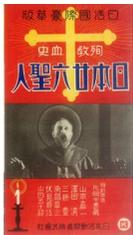


上記いずれかにご無理のない程度にご協力いただけましたらとても嬉しいです。よろしく願いいたします。

## 「日本二十六聖人」映画会

8月14日と15日のミサ後、お御堂で青少年委員会により「日本二十六聖人」の映画会が開催されました。

1597年、長崎において十字架刑に処せられ、最初の殉教者となった26人の司祭、修道士、信徒は、1862年聖人に列せられました。この「日本26聖人」のうち、5人はスペイン人、1人はポルトガル人で、残りの20人が日本人でした。



この映画は1931年、京城(ソウル)のカトリック信徒平山政十氏の寄付により、ローマ教皇の後援のもとに日活で制作された殉教映画(白黒・無声)で、片岡千恵蔵、山田五十鈴なども出演し欧米でも上演されました。日本での布教開始から殉教に至るまでの時代の流れが分りやすく描かれています。作品はYouTubeでも見ることが出来ます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Zjpl8w5Jeal>

## すべてのいのちを守るための月間

世界のキリスト教諸教派は、ともに、9月1日からアジジの聖フランシスコの祝日である10月4日までを「被造物の季節(Season of Creation)」と設定し、ともに暮らす家のために祈り、また守るよう呼びかけています。カトリック教会もこのエキュメニカルな活動に参加するよう毎年呼びかけを行っており、日本では「すべてのいのちを守るための月間」として取り組みが行われています。

今年の「被造物の季節」のテーマは「被造物の声に耳を傾ける」です。

【詩編 19 編 2 節～5 節】

天は神の栄光を物語り 大空は御手の業を示す。

昼は昼に語り伝え 夜は夜に知識を送る。

話すことも、語ることもなく 声は聞こえなくても

その響きは全地に その言葉は世界の果てに向かう。

毎年期間中、特に9月第一日曜日には、全国一斉に「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」(2020年5月8日 日本カトリック司教協議会認可)を祈り、各共同体単位で具体的な行動を起こすよう呼び掛けられています。

北須磨教会では皆が被造物の声に耳を傾け、各自の心に響いた声を炎の形の短冊に書き、貼り付けて今年のシンボル「燃える柴」を作る予定です。



The Burning Bush

Listen to the  
Voice of Creation  
SEASON OF CREATION 2022

## お知らせ

### 評議会より

#### 評議会の開催

9月18日(日)ミサの後、今年度第2回評議会を行います。コロナの感染拡大に伴いこの2年余り、ミサの参加を始め、各委員会の活動など、教会活動は大きな制約を余儀なくされてきました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、今後の活動に向けて、在り方、課題などを話し合いたいと思います。

各委員会代表の方、諮問委員の皆様には、ご出席方よろしく願いいたします。

#### 宅配ボックス設置

現在、宅配ボックス設置に向けて検討を進めています。次回評議会で仕様の案を諮った後、見積り、発注と進めていく予定です。

### 典礼委員会

#### 《新式文ワークショップのご案内》

9月4日ミサ後、新しい式次第の冊子を用いてワークショップを行います。本番さながらに、聖堂で先唱者・朗読者・会衆となって新しい式文を音読し、ともに勉強しませんか？(所要時間 約40分)

ワークショップは10月16日にも開催予定です。

☆光明社のミサ式次第【会衆用】簡易版

☆9月4日の『聖書と典礼』

☆筆記用具 などご持参ください。

皆さまのご参加、お待ちしております！

\*冊子をお持ちでない方は典礼委員までお申し出ください。

### 高齢者委員会・地区委員会合同

9月4日、高齢者委員会、地区委員会の合同で、敬老のお祝いはがきの発送作業を行います。ご協力お願い致します。

### 地区委員会

9月18日に掃除があります。担当は、第1・4・5地区です。宜しく願い致します。

燃えるごみ、古紙・ダンボール、雑草 等のごみの持ち帰りにご協力お願いいたします。

### 帰天されました

2022年8月18日 帰天  
マリア HTさま(第2地区)

永遠の安息と  
ご遺族の平安をお祈りいたします。



### 編集後記

世界中でおきている異常気象や環境破壊は、地球上のあらゆる生き物に大きな影響を与えています。正しい情報をもとに世界で起きていることに関心を持ち、未来を見据えてどう行動すべきかを考える。大切なことですね。(MMY)

# マンスリースケジュール9月

2022



日・曜日

9/1 木

2 金

3 土

主日の聖書を読む会(14:00～)

ロザリオの祈り(14:00～)

**4 日** 年間第23主日 ミサ10:00～ 第3・6B/7地区 中川神父のミニ講座(ミサ後)  
 典礼委員会ワークショップ(ミサ後) 高齢者委員会・地区委員会合同(ミサ後)

5 月

6 火

7 水

8 木

9 金

10 土

主日の聖書を読む会(14:00～)

ロザリオの祈り(14:00～)

**11 日** 年間第24主日 ミサ10:00～ 第2・6A地区 中川神父のミニ講座(ミサ後)

12 月

13 火 社会活動センター炊き出し(9:30～)

14 水

15 木

16 金

17 土

主日の聖書を読む会(14:00～)

ロザリオの祈り(14:00～)

**18 日** 年間第25主日 ミサ10:00～ 第1・4・5地区 北須磨評議会(ミサ後) 掃除(ミサ後)

19 月

20 火

21 水

22 木

23 金

24 土

主日の聖書を読む会(14:00～)

ロザリオの祈り(14:00～)

**25 日** 年間第26主日 ミサ10:00～ 第3・6B/7地区 ラウダート・シの集まり(ミサ後)

26 月

27 火

28 水

29 木

30 金

10/1 土

主日の聖書を読む会(14:00～)

ロザリオの祈り(14:00～)

**2 日** 年間第27主日 ミサ10:00～ 第2・6A地区

注)大阪教区からの新しい通達があるまでは、上記ローテーションでのミサ参加となります。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。  
 また、ゆるしの秘跡、病者の塗油、ご聖体をご希望の方も、いつでもご連絡ください

◇ミサに与る時は、マスクを着用し、手指消毒に心がけてください。

◇『聖書と典礼』はご自分の分を持参してください。

